

幼稚園教諭一種免許状取得に必要な科目

免許法施行規則に定める科目と本学開設授業科目との対比表

免許法施行規則に定める科目区分等			左に対応する開設授業科目		
	各科目に含めることが必要な事項	要件 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康 人間関係 環境 言葉 表現	子どもと健康		2
			子どもと人間関係		2
			子どもと環境		2
			子どもと言葉		2
			子どもと音楽表現		2
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	16（※1）	保育内容総論	1	
			保育内容・健康	1	
			保育内容・音楽表現Ⅰ	1	
			保育内容・音楽表現Ⅱ	1	
			保育内容・人間関係Ⅰ	1	
			保育内容・人間関係Ⅱ	1	
			保育内容・環境Ⅰ	1	
			保育内容・環境Ⅱ	1	
			保育内容・造形表現Ⅰ	1	
			保育内容・造形表現Ⅱ	1	
			保育内容・身体表現	1	
保育内容・言葉	1				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	10	教育原理	2	
			保育者論	2	
			教育社会学	2	
			教育心理学	2	
			臨床教育学		2
			臨床保育学		2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 幼児理解の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	4	教育方法論	1	
			ICT活用の理論と方法	2	
			子ども理解の理論と方法	2	
			教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導	1	
			教育実習Ⅰ	1	
	教育実習Ⅱ	3			
大学が独自に設定する科目	教職実践演習	2（※2）	教職実践演習（幼・保）		2
			教職実践演習（幼・小）		2
		14（※3）	食育論	2	
			日本語Ⅰ	2	
			器楽Ⅰ	1	
			声楽Ⅰ	1	
			造形	1	
			児童文学		2
			算数		2
			子ども体育Ⅰ		1
子ども体育Ⅱ		1			
合計		51	43	22	

備考

- ※1 領域及び保育内容の指導法に関する科目の要件単位数（16単位）については、保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）の科目として開設している科目（12単位）が必修であることから、残り4単位については領域に関する専門事項として開設している科目の中から2科目4単位以上を選択し修得しなければならない。
- ※2 教育実践に関する科目のうち、教育実践演習の科目の要件単位数（2単位）については、教育実践演習（幼・保）又は教育実践演習（幼・小）のいずれかを選択し修得するものとする。
- ※3 大学が独自に設定する科目に規定される要件単位数（14単位）については、必修7単位を除く、残り7単位には「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」に規定される最低要件単位数を超えて修得した単位（5単位）を充てることができるため、残単位となる2単位について、上表の選択科目の中から修得する必要がある。ただし、「領域に関する専門的事項」に関する科目の要件単位として組み入れた2科目（4単位）の単位を含めることはできない。

免許法施行規則第66条の6に定める科目	要件 単位数	左に対応する 開設授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体育	2	体育講義	1	
		体育実技	1	
外国語コミュニケーション	2	基礎英語Ⅰ	1	
		基礎英語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	情報処理	2	
合計	8	合計	8	